

第13回機関リポジトリ推進委員会議事要旨

1. 日時：平成29年2月3日（金）13:30～15:30

2. 場所：国立情報学研究所 20階講義室

3. 出席者：

（委員）

富田 健市	北海道大学附属図書館 事務部長
江川 和子	筑波大学学術情報部 部長
尾城 孝一	東京大学附属図書館 事務部長
高橋 菜奈子	千葉大学附属図書館学術コンテンツ課長
島 文子	京都大学附属図書館 図書館企画課長
池田 大輔	九州大学大学院システム情報科学研究院 准教授
大野 利彦	神戸外国語大学学術情報センター グループ長
菊池 亮一	明治大学 学術・社会連携部・部長
佐藤 翔	同志社大学免許資格課程センター 助教
山地 一禎	国立情報学研究所学術ネットワーク研究開発センター（コンテンツ科学研究系）准教授／学術リポジトリ推進室長
細川 聖二	国立情報学研究所学術基盤推進部学術コンテンツ課 課長
吉田 幸苗	国立情報学研究所学術基盤推進部学術コンテンツ課 副課長

（陪席）

酒井 清彦	国立情報学研究所 学術基盤推進部 次長
荘司 雅之	早稲田大学図書館 事務部長

（事務局）

田口 忠祐	国立情報学研究所学術基盤推進部学術コンテンツ課 係長
-------	----------------------------

（欠席）

森 一郎	新潟大学 学術情報部 学術情報管理課長
安本 裕和	関西学院大学図書館 事務部長

<配付資料>

第13回機関リポジトリ推進委員会出席者名簿

- 1-1. 第12回機関リポジトリ推進委員会議事要旨
- 1-2. メール審議（平成28年10月22日以降）経過（報告）
- 2-1. オープンアクセスリポジトリ推進協会運営委員会への移行について
- 2-2. オープンアクセスリポジトリ推進協会組織図
- 2-3. オープンアクセスリポジトリ推進協会作業部会、タスクフォース再編（案）
3. オープンアクセスリポジトリ推進協会作業部会設置規程（案）
- 4-1. オープンアクセスリポジトリ推進協会 2017年度事業計画（案）
- 4-2-1. 国際担当 2017年度活動計画（案）
- 4-2-2. JAIRO Cloud 運用作業部会 2017年度活動計画（案）

- 4-2-3. 研修作業部会 2017 年度活動計画（案）
- 4-2-4. 広報普及作業部会 2017 年度活動計画（案）
- 4-2-5. メタデータ普及タスクフォース 2017 年度活動計画（案）
- 4-2-6. 研究データタスクフォース 2017 年度活動計画（案）
- 4-2-7. OA 方針成果普及タスクフォース 2017 年度活動計画（案）
- 4-3. オープンアクセスリポジトリ推進協会 2017 年度予算（案）
- 5. オープンアクセスリポジトリ推進協会運営委員会名簿（案）
- 6. オープンアクセスリポジトリ推進協会作業部会員名簿の作成について
- 7. オープンアクセスリポジトリ推進協会第 1 回総会について
- 8-1. JAIRO Cloud 運用作業部会 2016 年度活動報告
- 8-2. 研修作業部会 2016 年度活動報告
- 8-3. 広報作業部会 2016 年度活動報告
- 8-4. メタデータ検討タスクフォース 2016 年度活動報告
- 8-5. 研究データタスクフォース 2016 年度活動報告
- 8-6. 論文 OA タスクフォース 2016 年度活動報告
- 8-7. 指標・評価・メトリックスタスクフォース 2016 年度活動報告

参考

- 1. オープンアクセスリポジトリ推進協会会則
- 2. オープンアクセスリポジトリ推進協会運営委員会規程
- 3. オープンアクセスリポジトリ推進協会会費規程
- 4. オープンアクセスリポジトリ推進協会入会状況及び会員機関リスト

<机上配布>

- 1. オープンアクセスリポジトリ推進協会パンフレット原稿
- 2. オープンアクセスリポジトリ推進協会への活動支援について（依頼）

4. 議事

（1）第 12 回議事要旨及びメール審議結果確認

富田委員長より、資料 1-2 について説明があり、承認された。

（2）オープンアクセスリポジトリ推進協会運営委員会への移行について（審議）

富田委員長より、資料 2-1 から 2-3 に基づき説明があり、審議の結果、第 13 回連携・協力推進会議へは下記を報告及び審議事項とすることで了承された。

（報告事項）

- オープンアクセスリポジトリ推進協会（以下：JPCOAR）の設立以降の状況報告

（審議事項）

- 機関リポジトリ推進委員会から JPCOAR 運営委員会への移行とそれに伴う「機関リポジトリ推進委員会規程」の廃止

(3) オープンアクセスリポジトリ推進協会作業部会設置規程案について（審議）

富田委員長より、資料 3 について説明があり、審議の結果、誤記及び文言等の不統一を修正することです承された。

(4) 2017 年度事業計画（案）、作業部会・タスクフォース活動計画（案）、予算（案）について（審議）

4-1) 2017 年度事業計画（案）

富田委員長より、資料 4-1 について説明があった。

このことについて、以下の意見が出された。

- 2017 年度事業計画とは別に、資料 2-1「オープンアクセスリポジトリ推進協会運営委員会への移行について（案）」で、協会の中長期的な方向性を示すようにする。
- 事業計画については、各作業部会・タスクフォースの具体的な活動に先立つものとする。

審議の結果、2017 年度事業計画（案）については、出された意見を踏まえ、総会に諮ることが承認された。

4-2) 作業部会・タスクフォース活動計画（案）

(1) 国際担当

山本委員より、資料 4-2-1 について説明があった。

- 協会の予算に余裕のないこと、また、国立大学図書館協会等による海外派遣事業もあることから、他事業との棲み分けを考える。

(2) JAIRO Cloud 運用作業部会

江川委員より、資料 4-2-2 について説明があった。

- 移行サポートとして、今年度は試行的に開催した移行担当者向けの勉強会を、半年に 1 回、計 2 回程度実施する。

(3) 研修作業部会

山本委員より、資料 4-2-3 について説明があった。

- 新任担当者研修については、会員機関を対象に行う。

(4) 広報普及作業部会

富田委員長より、資料 4-2-4 について説明があった。

- 総会については、広報普及作業部会ではなく、運営委員会が中心となって企画を行うことを想定している。また、図書館総合展については、予算や人員のリソースが厳しいため、活動計画に含めていない。

(5) メタデータ普及タスクフォース

高橋委員より、資料 4-2-5 について説明があった。

- 検討中のメタデータスキーマの名称については、JPCOAR スキーマとする。
- 最終段階の JPCOAR スキーマ案についてはパブリックコメントを求める。

- 検討中のメタデータスキーマ（JPCOAR スキーマ）については、参加機関からの意見と国際動向などを踏まえながら最終調整を行い確定する。

(6) 研究データタスクフォース

尾城委員より、資料 4-2-6 について説明があった。

- RDM トレーニングツールについては、ほぼ完成しており、直近では、2 月 14 日開催の SPARC JAPAN セミナーにて紹介予定である。
- 来年度活動計画(案)は、2 月 15 日開催の最終ミーティングにて確定予定である。

(7) OA 方針成果普及タスクフォース

島委員より、資料 4-2-7 について説明があった。

- 今年度内に、OA 方針策定ガイドを確定して公開する。
- 2017 年度には、既に OA 方針を策定している機関に対してアンケートを実施することを予定している。

(8) 研究者情報連携タスクフォース

- ORCID の日本国内での普及を進めるため、アドボカシー的な活動を行うことが必要ではないかとの意見があり、今後検討する。

審議の結果、活動計画（案）については、上記の内容で総会に諮ることが了承された。また、次期メタデータスキーマの名称については、「JPCOAR スキーマ」とすることが承認された。

4-3) 予算（案）について

事務局田口係長より、資料 4-3 について説明があった。

このことについて、次の意見が出された。

- 予算（案）については、想定している会員機関数を少なく見積もって作成した。
- 会員機関数の増加により、最新の会費収入見込額との間で差額が発生するようになったが、予算（案）として残金が生じるのは問題である。
- 予算（案）作成の際には各作業部会・TF の活動費を極力制限していたが、残金が生じたことにより、これまでの活動実績に照らし修正を行う。
- 運営委員会活動費（新規のタスクフォースの活動費用等）を設ける。

審議の結果、予算（案）については、出された意見を踏まえた修正を行った上で、総会に諮ることと了承された。

(5) オープンアクセスリポジトリ推進協会運営委員会名簿について（審議）

富田委員長より、資料 5 について説明があり、4 月の人事異動への対応も含め、総会で委員名簿(案)について承認を得ることが了承された。

(6) オープンアクセスリポジトリ推進協会運営委員会作業部会員の名簿作成について（意見交換）

富田委員長より、資料6に基づいて説明があった。

このことについて、意見交換の結果、以下のこととなった。

- 立候補については、機関からの推薦等の手続を求めるようにする。
- 現作業部会員は、ほぼ国立大学のメンバーで占められている。私立大・公立大については、機関により、規模や各種活動への参加状況の差が大きいこともあり、地域・館種別の協議会等への依頼と共に、個別の大学に依頼することも必要である。

(7) オープンアクセスリポジトリ推進協会第1回総会について（意見交換）

富田委員長より、資料7について説明があった。

このことについて、意見交換の結果、以下のこととなった。

- 質疑応答の時間を多く確保する。
- 会則上、監事は「協会の会計を監査し総会で報告する」とあるが、2016年度は協会としての会計は発生していないため、2016年度監事からの報告については割愛する。

(8) オープンアクセスリポジトリ推進協会のパンフレットについて（審議）

富田委員長より、机上配布資料No.1について説明があり、一部、修正行うことで了承された。

なお、修正を行った最終案については、入稿まで時間が限られていることから、今後1週間程度、メーリングリストにて意見を募った後、委員長に一任する形で進めることとなった。

(9) 2016年度機関リポジトリ推進委員会作業部会・タスクフォース活動報告について（報告）

9-1) JAIRO Cloud 運用作業部会

江川委員より、資料8-1について報告があった。

9-2) 研修作業部会

山本委員より、資料8-2について報告があった。

9-3) 広報作業部会

富田委員長より、資料8-3について報告があった。

9-4) メタデータ検討タスクフォース

高橋委員より、資料8-4について報告があった。

9-5) 研究データタスクフォース

尾城委員より、資料8-5について報告があった。

9-6) 論文OAタスクフォース

高橋委員より、資料8-6について報告があった。

9-7) 指標・評価メトリックスタスクフォース

佐藤委員より、資料8-7について報告があった。

このことについて、意見交換の結果、以下のこととなった。

- 次期メタデータスキーマに対する意見募集については、年度内に同ガイドライン案を委員会にて確認の上、実施する。
- これまで「OA ツールキット」と呼んでいた一連の資料（策定ガイド、雛形、実施計画例等）、及び「OA 方針リンク集」については、内容を委員会にてメール審議の上、ウェブサイトで公開する。
- 3月8日開催の第1回総会に向け、各種資料の文言の統一を図る。
- 今後、協会では年・年度については西暦で記述する。
- 委員長退任に伴う、委員長が決まるまでの間の代行の指定については後日これを行う。

以上